



2026 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 シンプレクス・ホールディングス株式会社
代表者名 取 締 役 社 長 金 子 英 樹
(コード番号：4373 東証プライム市場)
問合せ先 取 締 役 C F O 江 野 澤 慶 亮
(T e l . 0 3 - 3 5 3 9 - 7 3 7 0)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 10 月 28 日開催の取締役会において、2027 年 3 月期の業績予想の修正について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2027 年 3 月期 連結業績予想の修正 (2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的 1 株当たり 当期利益
前回発表予想 (A) (2026 年 4 月 30 日発表)	百万円 70,000	百万円 17,200	百万円 16,943	百万円 12,420	円 銭 55.08
今回修正予想 (B)	71,000	17,500	17,229	12,420	55.08
増 減 額 (B－A)	+1,000	+300	+286	0	0.00
増 減 率 (%)	+1.4%	+1.7%	+1.7%	0.0%	0.0%
(ご参考) 前期実績 (2026 年 3 月期)	58,682	14,420	14,352	10,538	46.42

※ 当社は、2025 年 12 月 1 日を効力発生日とする普通株式 1 株につき 4 株の株式分割を実施しております。前期実績の基本的 1 株当たり当期利益につきましては、当該株式分割が 2026 年 3 月期の期首に行われたと仮定して算定しております。

2. 修正の理由

底堅い DX 需要を背景として、生産能力の向上が売上拡大に直結する事業環境が継続しております。当社グループの業績につきましても、エンジニア及びコンサルタント 1 人当たりの売上収益が上昇するなど、順調に推移しております。上期の売上収益及び営業利益は、四半期・半期ともに過去最高を更新し、概ね期初予想どおりの着地となりました。

下期においても、エンジニア及びコンサルタントの増員等による生産能力の向上を見込んでいることに加え、足元の受注状況が良好であることを踏まえ、通期の売上収益予想を上方修正いたしました。また、中期経営計画「中計 2030 -Vision1000-」の投資フェーズとして、下期も引き続き AI 利用料を含む研究開発等の成長投資を強化する一方、売上総利益の増加がこれらの費用増加を上回る見通しであることから、営業利益及び税引前利益の予想についても上方修正いたしました。

なお、上期の親会社の所有者に帰属する中間利益は、当期から導入した株主優待制度に係る費用の税務上の損金不算入による影響が期初想定を上回ったこと等により、期初予想を下回りました。通期では、上期の下振れ分と下期に見込む利益の増加分が相殺される見通しであることから、親会社の所有者に帰属する当期利益の予想を据え置いております。

※ 本資料に記載されている当社グループの業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上